

2016年2月29日(月) @内閣府
共助社会づくり懇談会
社会的インパクト評価検討ワーキング・グループ 第4回

社会的インパクト評価に 関する取り組み

公益財団法人あいちコミュニティ財団
コミュニティ・ユース・バンクmomo
木村真樹 (きむら・まさき)

masaki@kimura-office.net

地域内“志金”循環モデル構想

市民のお金を地域で循環させる
セーフティネット、地域再生

地域への再投資

NPO 等

委託・補助

助成・活動支援

融資・活動支援

融資

行政

市民コミュニティ財団

NPO バンク

地域金融機関

納税

会費・寄付

寄付(税制優遇)

出資

事業収入

預金

市民・地域企業

参考:「名古屋市市民活動促進基本方針」(2011年12月) / 図 資金が地域で回る仕組みのイメージ (例: 市民ファンドの場合)

年間 4~5 千万円の資金支援 & 360名強による伴走支援

「Theory of Change 2020」の完成



次の5年、10年に向けて

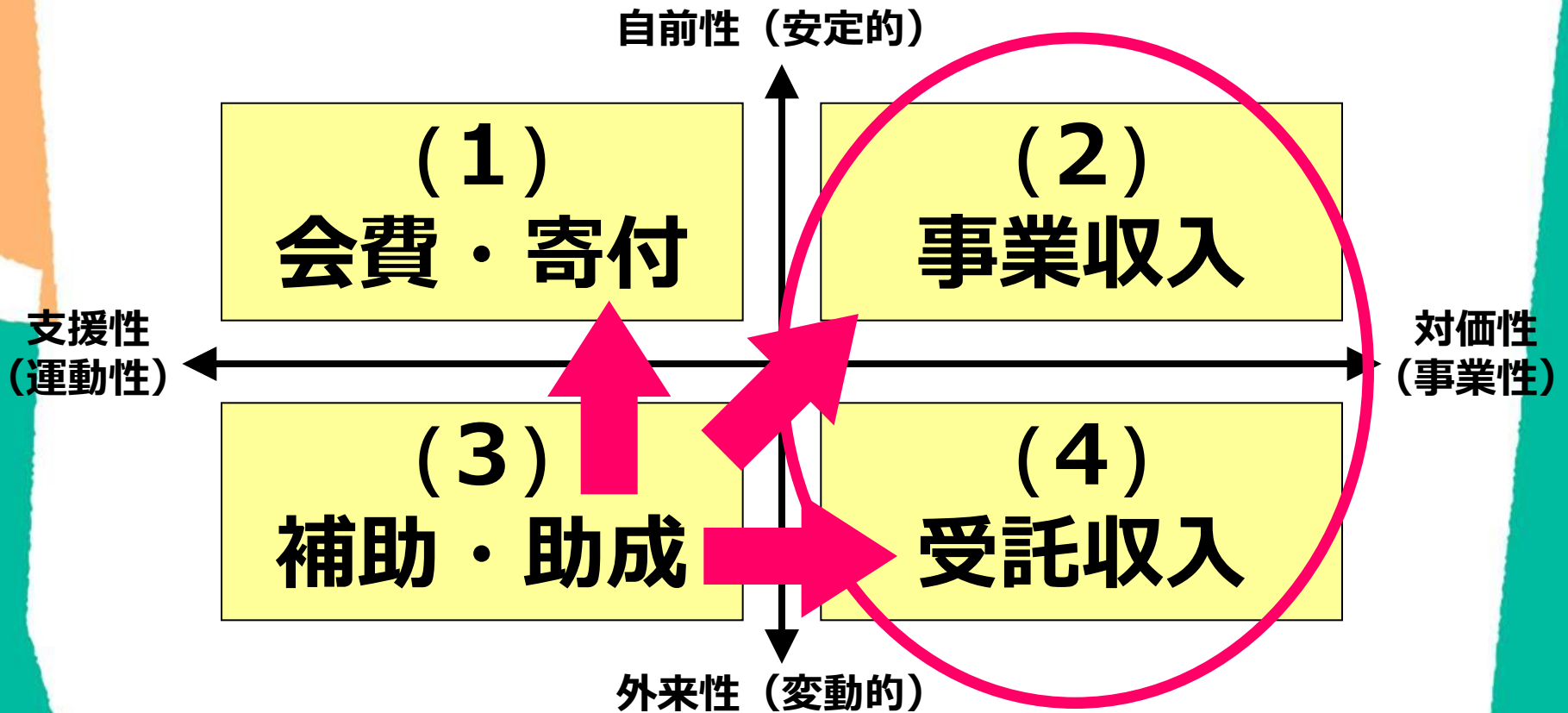
◎「地域内“志金”循環モデル構想」の実現に向けたTheory of Change 2020 ※2020年までの問題解決の仮説

★momoが主体となって実現すること ☆他団体で協働で実現すること

目標 (Goal)	目的 (Objectives)	活動 (Activities)	結果 (Output)	成果 (Outcome)	取組 (Output)
行政や中間コミュニティ団体、地域金融機関等に連携し、全国展開が期待できる「地域内“志金”循環モデル構想」を実現する	1. 地域の課題解決には民間の事業者を招く	出資を集め、融資を行い、借者の申込を促す 1. 1. パンダ (1) 出資金の集積【★】 (2) 正会員への融資【★】	●正会員数：1,000人 80%以上が奨励金・奨学金・世帯債 ●出資総額：5,000万円 ●融資件数：100件 ●融資総額：2億5,000万円	10%以上の正会員が「momo」の正会員に参加している 10%以上の momo 融資先が地域金融機関から融資を受けている	momo をモデルとした NPO バンクや地域金融機関との連携が「奨学金」と「世帯債」にも展開している。
		出資を集め、融資を行い、借者の申込を促す 1. 2. ユース (1) 若者のボランティア・スタディーツアー「momo レンジャー」の募集・育成【★】 (2) 遠隔地組合形市民協会の募集・育成・活動の継続【☆】	●momoレンジャー数：300名 ●momoレンジャー定率率：84%以上 ●活動件数：50件 ●活動地域でメンバーを育成	80%以上の momo 融資申込者が「momo レンジャー」を協力を結び、申し込んでいる 東海地域の支援機関によるプラットフォームが開設している	
	2. 「わたしの志金が地域で生かされている」という意識を育む	融資先への申込支援を行う 2. 1. 情報発信 (1) リアル＆バーチャル：「momo 通信」「momo トポット」の発行、アプリや SNS 等の活用【★】 (2) メディア・新聞、テレビ、雑誌等【☆】	●情報発信回数：300人（正会員数の80%） ●メディア掲載数：10件以上/年	他のもまがまじメディアへの協賛活動を推進している	市民が主体的に「志金」を主体的に理解し、「協賛できる組織」として企業や行政を誘えるMPOが実現している
		融資先への申込支援を行う 2. 2. 借づくり (1) 融資先との交流企画：お祝賀会、交流イベント等【☆】 (2) 正会員との交流企画：奨励金、奨・奨学金、奨励券【★】 (3) momo レンジャー等による交流企画：他団体訪問ツアー等【☆】	●正会員の参加率：10%以上/年 ●交流機会における正会員の参加割合：60%以上 ●貸し入れなし	支援者数の増加や自主事業率の向上など、融資先の組織意識が強化されている	
		地域金融機関等と連携する (1) 融資先：東海ろうきん「MPO 育成支援制度」の活用【☆】 (2) 融資先：「融資先の社会的価値「見える化」プログラム」の活用【☆】 (3) 「お金の地域活用計画 2014」を活用【☆】	●融資件数：60件 ●協賛総額：5,000万円 ●融資先数：10件 ●「100セーブ・ア・ビル」の健全化機関が参加 ●協賛・販売額：4,000万円 ●47都道府県で開設 50%以上の地域金融機関が参加	80%以上の融資先が地域金融機関から融資を受けている 80%以上の地域金融機関が地域設置型金融機関運営に「MPO 支援」を認めている 84%以上の都道府県で MPO 支援のプラットフォームが開設している	

「地域内“志金”循環モデル構想」の実現に向けた2020年までの問題解決の仮説

NPOの“志金”源



今日のお話

1. “志金”の「出し手」の課題⇔解決策

- (1) 資金の出し手もインパクト志向になる必要がある。
- (2) 社会全体に課題解決型指向が欠如している。

2. “志金”の「受け手」の課題⇔解決策

- (3) 成果を伝えることができない。

3. “志金”の「生かし手」の課題⇔解決策

- (4) 助成財団等は理解、ノウハウ不足であり、助成先に対しても効果説明を求めない。
- (5) 中間支援組織内のキャパビルが不十分であり、評価ができる人材がいない。

今日のお話

1. “志金”の「出し手」の課題⇔解決策

- (1) 資金の出し手もインパクト志向になる必要がある。
- (2) 社会全体に課題解決型指向が欠如している。

2. “志金”の「受け手」の課題⇔解決策

- (3) 成果を伝えることができない。

3. “志金”の「生かし手」の課題⇔解決策

- (4) 助成財団等は理解、ノウハウ不足であり、助成先に対しても効果説明を求めない。
- (5) 中間支援組織内のキャパビルが不十分であり、評価ができる人材がいない。

あいちの課題を「定量化」

あいち「見える化」ウェブ

あいちの地域課題を知る。
その解決に挑むNPOがわかる。



本サイトでは、公益財団法人あいちコミュニティ財団の助成先が解決に挑んでいる「地域課題」と「その解決策」を紹介しています。

あいち「見える化」ウェブとは？

あいちの地域課題を知る

解決に挑むNPOを見つける

解決策に参加する

お問い合わせ

近頃のあいちの課題

▶名古屋市に住む児童・生徒の約1,000人に2名が重度・重複障がい児

名古屋市に住む児童・生徒の

約1,000人に2名が

重度・重複障がい児

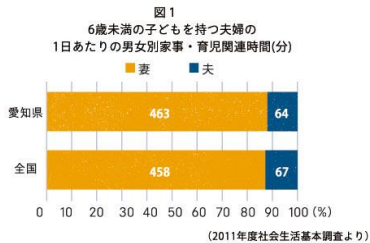
自分で歩いたり、座ったりすることが難しく、思うように動くことができない子どもたちがいます。また、食事を自分で食べ

カテゴリー別あいちの課題





合計特殊出生率が1990年に1.57となり、少子化問題が指摘されて以来、子育て支援策が実施されてきました。「平成23年社会生活基本調査」で6歳未満の子のいる夫婦の家事育児時間をみると、愛知県、全国平均ともに、妻は夫の約7倍(図1)で母親の負担が大きいことがわかります。また、核家族化による「子育ての孤立化」は、育児不安の一要因といわれていますが、愛知県では核家族の割合が85%を超えています(図2)。一方、低月齢からの親子の愛着形成は、その後の発達に影響があることが実証されていて、母親の精神的な安定はとても重要です。今回私たちは、各地で始まっている産後サポート、特に「家庭訪問型家事育児支援」の導入に向けた事前調査を実施しました。



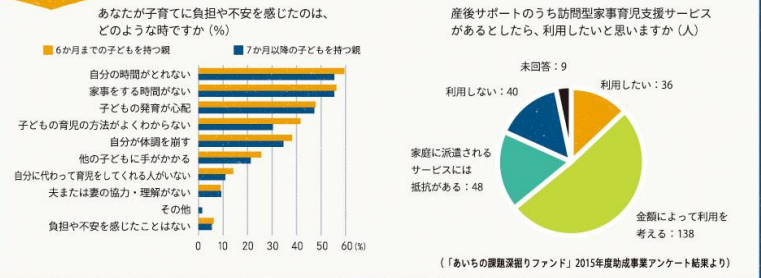
代表者の声

2002年、日進市と協働して市民同士で子どもを預かり合うシステム「にっしんファミリー・サポート・センター」を立ち上げたとき、「昔はよかった! 隣近所のおばさんが子どもの面倒見てくれたよね!」と言われました。しかし、確実に社会の環境は変化し、家庭の状況も多様化しています。子育ても、新たな地域コミュニティの構築が必要です。

代表理事
小川悦子さん

お 悩 み 課 題

母親に負担は集中し、不安は解消されず…。それでも子育ては母親の担当

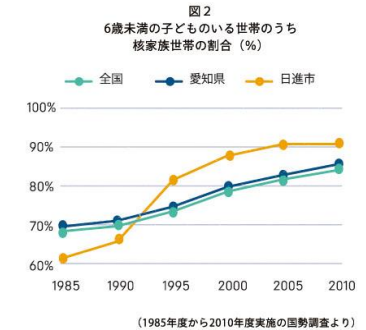


日進市は名古屋市と豊田市に挟まれた市で、1994年の市制施行頃から人口が急増。同時に核家族化が進行し、6歳未満の子のいる世帯の90%以上が核家族です(図2)。2015年5月、市内の保健センターと子育て支援拠点に訪れる親を対象に産後サポートについて調査を行い、271名から回答を得ました。うち88%が核家族でした。

「金額により利用したい」と答えています。「どのような人に支援してもらいたいですか」の問いには、「保健師・保育士などの専門家」が76%、「研修を受けた先輩ママ」が50%という結果でした。

以上の結果から、産後サポートとしての訪問型家事育児支援サービスは、母親が感じている不安や負担の緩和、軽減を図るための支援として有効な方法と期待できます。

最初の質問では、9割の母親が「家事・育児を担っている」と回答しています。次に「あなたが子育てに負担や不安を感じたのは、どのような時ですか」の問いに、産後6か月までの子どもを持つ親の59%、産後7か月以降の子どもを持つ親の55%が「自分の時間が取れない」と回答しています。さらに、「家事が思うようにできない」が56%/55%。「自分に代わって育児をしてくれる人がいない」が14%/11%でした。7~9人に1人は、子育てをひとりですべて抱えていると考えられます。また、「負担や不安にどのように対応していますか」の問いには、54%/49%が「子どもの成長とともに、時が解決した」、39%/35%が「どうすることもできないので、あきらめてやり過ごした」と回答しています。最後に、産後サポートのうち「訪問型家事育児支援サービス」のニーズについて質問したところ、67%が「利用したい」



モグラの声

愛知県内で子育てが活発と思われる日進市にフォーカスし、統計分析を中心にお手伝いしました。日進市では9割が核家族である一方、出産時に経済的不安を抱いた人が2割にとどまるなど、特有の地域性が見られます。そのような環境の中、6か月までのお子さんを持つ親の14%が、自分の代わりがないと悩んでいることが問題だと感じます。



ブラザー工業株式会社
芦田繁樹さん

今日のお話

1. “志金”の「出し手」の課題⇔解決策

- (1) 資金の出し手もインパクト志向になる必要がある。
- (2) 社会全体に課題解決型指向が欠如している。

2. “志金”の「受け手」の課題⇔解決策

- (3) 成果を伝えることができない。

3. “志金”の「生かし手」の課題⇔解決策

- (4) 助成財団等は理解、ノウハウ不足であり、助成先に対しても効果説明を求めない。
- (5) 中間支援組織内のキャパビルが不十分であり、評価ができる人材がいない。

特集【2】

あいちコミュニティ財団
設立2周年記念イベント

「イロリバ」2015



2013年4月1日に「みんなで“志金”を持ち寄るしくみ。」として設立したあいちコミュニティ財団は、15年3月末までの2年間で、あいちの課題に立ち向かう22の解決策を応援してきました。

どの取り組みにも、解決に挑む中で育まれた感動的な「物語」があります。当財団はどの団体も持つこの物語に着目し、「イロリバ」2015を開催しました。本イベントでは、当財団の助成先がボランティアスタッフ「ツムギスト」13名（※）とともに3ヶ月間でつむいだ「フォトストーリー」と練り上げた原稿で、助成事業による物語をスピーチしました。

※あいちコミュニティ財団が助成した取り組みの「物語」をつむぐボランティアスタッフの名称。

研修講師の声

初回の上、2日間連続の研修でしたので、当初はみなさんがとても緊張していました。しかし、助成先が活動を始めた時の想いや願いを次々に語っていくなかで、ツムギストがどんどん助成先を引き込まれ、助成先が取り組む課題が他人ごとでなくなっていく…。そんな姿がとても印象的でした。

あれからきょうとたくさんの方との対話があったのでしょうか。「イロリバ」で完成した作品が上映された時の助成先とツムギストと一緒に見守る姿は、その間に重ねたお互いの太い絆が現れていて、熱いものが込み上げてきました。

自分の想いを伝えることも難しいが、他人の想いを自分の言葉で伝えるということは、さらに難しい。取材中から神経を研ぎ澄ませ、理解を深め、おもしろい話を深く掘っていく。自分もめりこみ、本当に「おもしろい！ 伝えたい！」と思える核の部分に触れるかどうか。文章のテクニックなんかではなく、これが一番肝心なことだと思います。



集合研修「フォトストーリー」づくり講師
愛知淑徳大学 准教授
小島祥美さん



集合研修「だれに、なにを、伝えるか」講師
中日新聞社 編集局 校閲部
長野奈美さん



赤ちゃん先生
プロジェクト

NPO法人ママの働き方応援隊
〒651-0087 兵庫県神戸市中央区幸通4丁目
1-10YAYABLDS01 ☎ 078-414-8201
☎ 078-414-8202 office@mamahata.net
https://www.mamahata.net/

助成金額
198,000円
NDS 感動基金

ママの働き方応援隊（以下、ママハタ）では、赤ちゃん連れのママが高齢者施設や教育機関におもむき、ふれ合いを通して命を感じる授業を行っています。通常は開催先から開催費をいただき、参加したママにはお仕事としてお金が支払われますが、東海地域ではまだ実績がないため、今回は助成金を活用し、活動しました。お金を得ることでママには社会的責任が伴い、ママが成長する一歩となります。私はこの活動に参加するまで、子育ては「孤独の『育て』」「人との縁のない無縁社会」と思っていました。でも、引きこもっていたのは、私自身であり、私も無縁社会をつくっている一人だと気づきました。

ママハタの活動は4年前に神戸で始まり、全国に約800名のメンバーがあり、愛知県は30名ほどです。今回の助成金で開催が増えたことで新規メンバーが10名も増えましたが、結婚・子育てによる女性の離職率がワースト10に入る愛知県。ママハタはそんな愛知のママのはじめの一歩を応援したいと思っています。ママハタの向かう先は、日本の無縁社会を解消すること。そのためにも赤ちゃん、開催先、運営資金が必要です。母親の輝く先にあるものは子どもたちの輝く未来。子どもたちの未来のために、たくさんの方がつながっている社会をつくっていきませんか！

助成先の声

写真を見、文字を書き、言葉にし、聴く…。五感を使って、ツムギストと一緒に伝える方法を学んだことは貴重な財産です。多くの方から「この活動は必要だ」と言っていただけなのに、次につなげていきたいと思えます。



通戸市役所
荻原美帆さん



東海支部スタッフ
天野育子さん

ツムギストの声

赤ちゃんとのことに精一杯だったママが、ママたち自身、そして社会への働きかけに挑戦しています。変わるの自分。無縁社会は、ママの勇気ある一歩でつながっていきます。



パンジー手芸部
設立プロジェクト

NPO法人パンジー
〒495-0001 愛知県稲沢市祖父江町祖父江下沼
159-2 ☎ 0587-98-2200
☎ 0587-98-2200 npopansy@outlook.jp
http://blog.canpan.info/pansy/

助成金額
400,000円
東海ろうきん
傍案ファンド

何かを作りたい。表現したい。手や足が不自由でも、しゃべれなくても、その思いは同じです。特別支援学校の先生は、そんな子に「ミシンをやらせてあげたい」と手を傷だらけにして教えてくれます。でも、学校を卒業してしまっただ途端、製作の場を失ってしまいます。助成金で買った1台のミシン。きれいな刺繍もできますが、重度の子どもにとっては時に危なかったり、思うように動かせなかったりしていました。そこで、ご相談したシンメーカーの方に魔法をかけていただくと、「簡単に安全で使いやすいもの」になり、それを見た先生が学校で同じように手を加えると、最も重度でミシンに触らせてもらえなかったグループの子どもたちも、ミシンを使えるようになりました。

今、子どもたちは「視覚障がい児のために点字を刺繍する」取り組みを始めています。「誰かの役に立つ」という生きがいを見つけ始めたのです。パンジーでは育児書に載っていない、難しい子育てをしているお母さんたちへ自身の経験や今の活動の発信を始めました。1台のミシンが子どもたちの可能性を広げ、社会への参加を後押ししてくれました。これからも、パンジーへの応援をよろしく願います。

助成先の声

20年間でちょっと変わった子育てをしてきた私が、突然パワーポイントでプレゼンテーションをしたり、ブログやfacebookを始めたり、一人前の社会人のように忙しく、ついには研修やツムギストさんのおかげで、大勢の前でスピーチするまでに！自身の成長にビックリです。



通戸市役所
畔柳昭佳さん



理事長
横井聡美さん

ツムギストの声

連続と続く実践や熱い想いが絡み合った。まさに光輝く薔玉のようなNPO法人パンジーと、その声に耳を傾け、一本のストーリーを紡ぎ出したツムギスト。両者の協業が感動のプレゼンテーションを織り上げました。

立場の違う人たちの、 共通の「ものさし」づくり

NPOの社会的価値 「見える化」プログラム 2015

地域の支援機関職員が
NPOのもたらす価値を
可視化する

最新記事

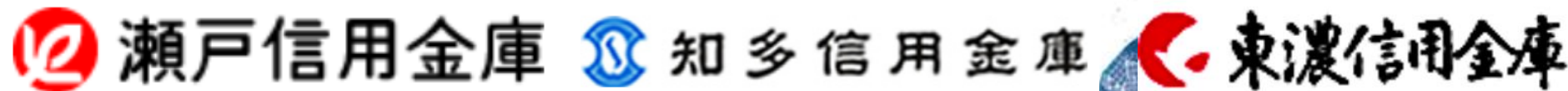
- 【参加NPO募集】 NPOの社会的価値「見える化」プログラム2015 参加NPO募集のお知らせ
- 【イベント案内】 NPOの社会的価値「見える化」プログラム2015 キックオフセミナー

カテゴリアーカイブ

「ソーシャルビジネスサポートあいち」に参加する支援機関の職員が仕事で培ったスキルや経験を生かして、NPOを半年間応援する「NPOの社会的価値『見える化』プログラム2015」のブログです。

職員のみなさんは1つのNPOにつき10名程度のチームをつくり、ミーティング等を通して、NPOの事業が地域や社会にもたらした定性的な価値を、貨幣価値に換算して定量的に示す「インパクトマップ」を作成し、そのプロセスや結果からNPOへの提案をまとめます。

【2015年度参加支援機関】



SROI SHEETS

SROI測定ワークシート集

～社会的価値を「見える化」する～

発行者

コミュニティ・ユース・バンクmomo

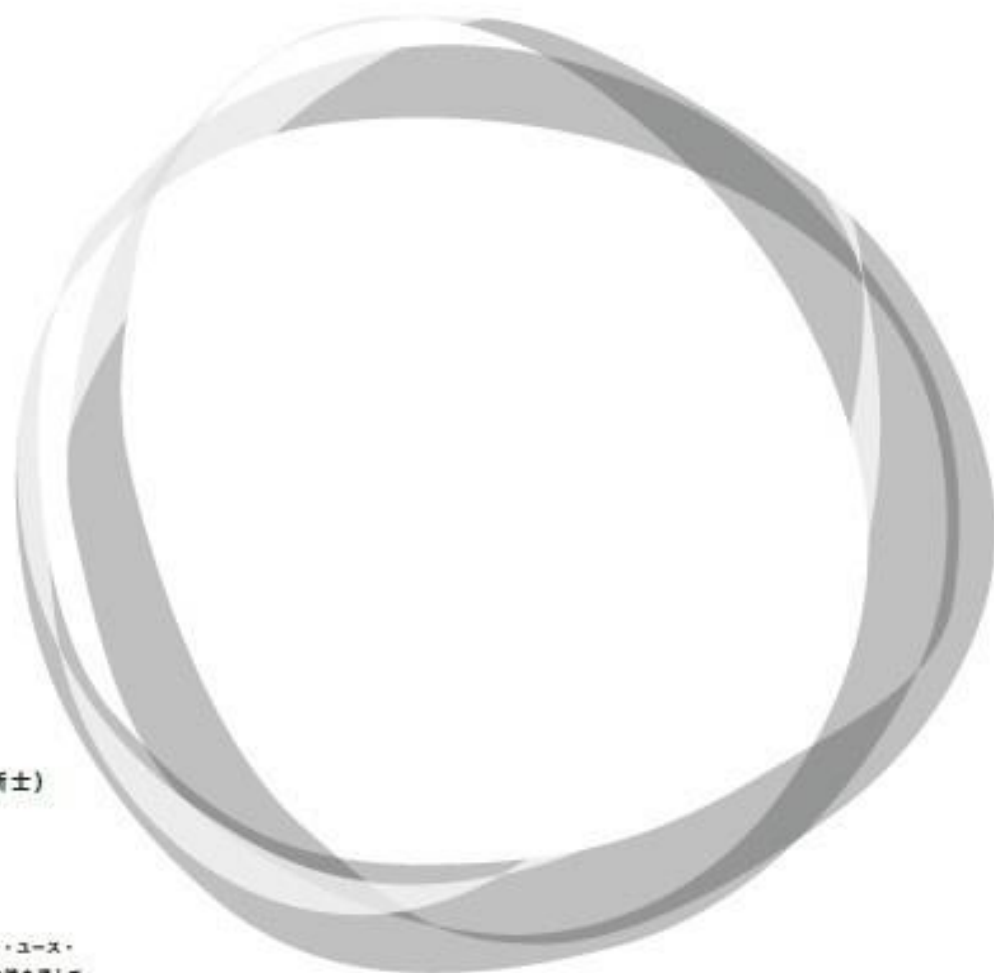
発行日

2015年3月31日

著者

木村真樹 (コミュニティ・ユース・バンクmomo 代表理事)

村田元夫 (株式会社ビー・エス・サポート 代表取締役/中小企業診断士)



※本ワークシート集は、NPO法人SROIネットワークジャパンの資料及び研修を参考に、コミュニティ・ユース・バンクmomoが顧客採用率や求職採用率と2013年度から協賛する「プロボノプロジェクト」の実績を基として作成しました。

今日のお話

1. “志金”の「出し手」の課題⇔解決策

- (1) 資金の出し手もインパクト志向になる必要がある。
- (2) 社会全体に課題解決型指向が欠如している。

2. “志金”の「受け手」の課題⇔解決策

- (3) 成果を伝えることができない。

3. “志金”の「生かし手」の課題⇔解決策

- (4) 助成財団等は理解、ノウハウ不足であり、助成先に対しても効果説明を求めない。
- (5) 中間支援組織内のキャパビルが不十分であり、評価ができる人材がいない。

愛知県内の補助・助成機関等との連携

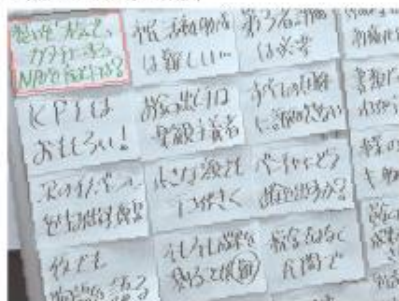
【“成果志向”の補助・助成金推進会議 in あいちとは？】

これからの補助・助成金のあり方として、“成果志向”の市民公益活動団体(NPO)を育むためにはどんな仕組みや仕掛けが必要か、愛知県内でNPOへの資金・非資金支援に取り組む担当者のみなさまとともに学び、推進するネットワーク(プラットフォーム)です。

2015年7月～9月に公益財団法人あいちコミュニティ財団が主催した“成果志向”の補助・助成金検討会議 in あいち(全5回/後援:愛知県)における対話を経て、立ち上げられました。

※参画団体

公益財団法人あいちコミュニティ財団(事務局)、安城市、一宮市、NDS株式会社、藤江町、刈谷市、コミュニティユースバンクmom、住友工業株式会社、瀬戸市、NPO 法人多文化共生リソースセンター兼務、NPO 法人中瀬プロボノセンター、津島市、株式会社デンソー、東海労働会連、豊田市、長久手市、社会福祉法人名古屋社会福祉協議会、公益財団法人名古屋まちづくり公社名古屋都市センター、日進市にぎわい交流館、半田市、碧南市、NPO 法人ローカルワイドウェブいおくら (22 団体/50 音順/2016年1月31日現在)



“成果志向”の補助・助成金のすすめ 制作スタッフ・アドバイザー
加藤祥子、佐藤有寿、玉置真悠、長野奈美、長谷川友紀

発行人
木村真樹 (公益財団法人あいちコミュニティ財団 代表理事)

デザイン
ORGAN デザイン室

“成果志向”の補助・助成金のすすめ
～想いを「本気で」カタチにするNPOを育むには?～

2016年2月23日 第1刷

発行
“成果志向”の補助・助成金のすすめ in あいち
(事務局:公益財団法人あいちコミュニティ財団)

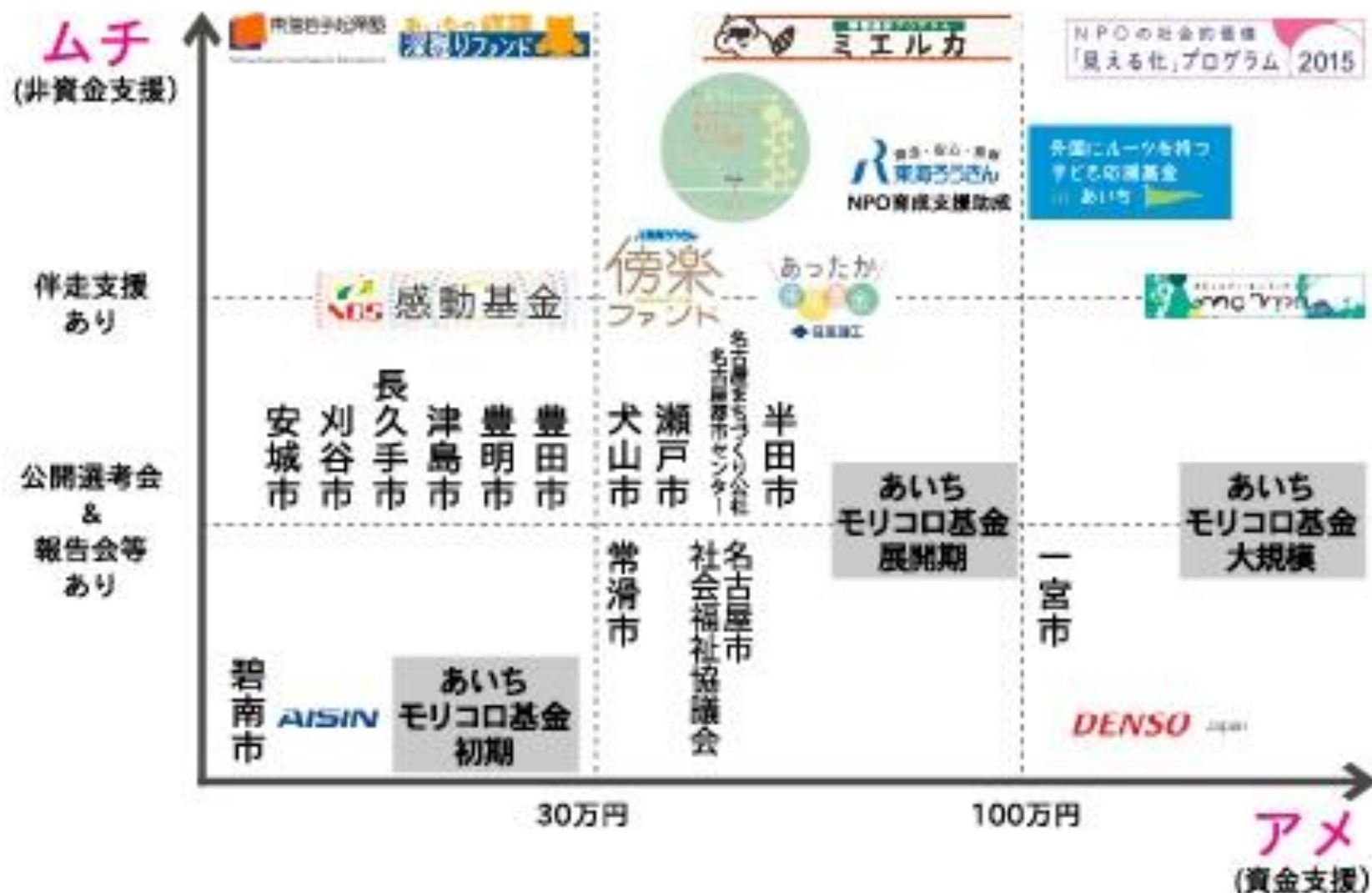
〒461-0002
愛知県名古屋市中区代官町 39-18
日本海運センタービル SF 5-D 号室
NPO 法人中瀬リサイクル運動市民の会内
tel: 052-936-5101 fax: 052-982-9089
e-mail: office@aichi-community.jp

“成果志向”の補助・助成金のすすめ

～想いを「本気で」カタチにするNPOを育むには?～

“成果志向”の補助・助成金推進会議 in あいちの発足 (22団体が参画/2016年2月23日現在)

下記は、2015年7月～9月に財団が主催した「成果志向の補助・助成金検討会議 in あいち」参加団体によるNPO支援の取り組みをタイプ別に並べた図です。横軸の“アメ”は「資金支援」、縦軸の“ムチ”は「公開選考会や報告会の開催、伴走支援などの「非資金支援」を表しています。



全国域の助成機関との連携

トヨタNPOカレッジ「カイケツ」キックオフシンポジウム

トヨタの組織マネジメント『問題解決』でNPOの成長を後押し



カイケツ

2016.3.1 (TUE) 14:00-17:00

@トヨタ自動車株式会社 東京本社 地下大会議室 東京都文京区後楽 1-4-18

公益財団法人トヨタ財団（会長・奥田碩）は今年 5 月、トヨタ自動車の協力を得て、NPO など非営利団体の皆さんにトヨタの組織マネジメント『問題解決』を学んでいただく連続講座「トヨタNPOカレッジ『カイケツ』」を開講します。

製造業にとって当たり前前のPDCAをNPOに